

■160524-25 子ども環境学会 熊本子ども成育環境状況調査 2016.05.28 佐久間治

■調査まとめ

熊本地震の最大の特徴は余震の異常な多さと認識していたが、規模や範囲としては東日本大震災と比較すると被災住宅の数から1/10、死者数としては0.3%、面積規模としては計算してみないとないとも言えないが、おそらく東北のひとつの県内に入るものと考え。ただ、益城町や熊本市東区、おそらく南阿蘇等の全壊住戸が多く派生した地域については、地盤や施設の被害は甚大であり、かなり近距離でもその地盤の特徴や活断層の位置により被害に大きな差がある点も特徴と考える。

現在、4月14日地震派生から6週目になり、現地は緊急時の復旧から、通常生活への復興期へと移りつつあることを感じた。子どもたちの成育環境で言えば、保育所や学校、学童保育等が再開され、子どもたちの生活にリズムが戻ってきていること。そして、避難生活について言えば、避難者も10000人以下となり、初夏の暑さ対策もあって、避難所にエアコンが入って、環境の室の改善をはかったり、そのような避難所や車内泊から、仮設住宅やトレーラーハウス等へ移行していく方法や時期を模索している状況であった。その意味で現場は落ち着きつつあり、子どもの成育環境支援においても、セーブ・ザ・チルドレンが益城町に5箇所設置した「子ども広場」も既に1ヶ月目の5月13日で終了して、現在は放課後の学童保育への研修や防災ずきんの配布等を実施してその後の通常生活時における防災と放課後の居場所、そしてそこにおける心理ケア(サイコソジカルファーストエイド)の支援にシフトしていることや、ワールド・ビジョンが益城総合体育館2階で運営しているプレイルームも6月1日には地元の子ども支援組織への移譲して撤退を決定している状況であり、これからは地元の成育支援組織と連携して、それを地元へ日常的に移行することが模索されている。

学校全面再開ではあるが、まだ、全領域が耐力不足、避難所機能、駐車場機能で使えない場所も多いため、いくつかの課題があることもわかった。

各家庭のすまい環境の問題、給食センター停止の問題、そのために授業が午前午後の交代制となり、勉強時間の確保が難しい問題、心理的ケアとしてはカウンセリングか、思い切り遊ばせることが効果的と考えられているが、カウンセラーが足りない。遊ばせたくても遊ばせる場所がない。遠出するにも渋滞等の現状がある。今我慢している子どもたちへ、運動会や就学旅行、夏季特別旅行等、何か前向きな目標をあげたい等の課題を伺った。

また、雇用悪化による貧困家庭、片親家庭の方たちの格差による困窮が見られたりしており、通常の成育環境が抱えている問題が悪化したケースもあり、そこに子どもたちが巻き込まれている問題があるが、住宅やインフラ再建が優先され、その点が見過ごされていることも多いと伺った。ただ、この震災を契機にこのような内容を啓発するチャンスと捉えることが可能かもしれない。

このような状況化であるので、やはり子ども環境学会としては、調査というよりも、学術的なシンポジウム等の支援を、適切は時期に行政も混じって行い、行政と市民と支援組織が連携して子どもたちのための

| 5月24日 | 内容 | 場所 | 住所 | 受入先 | 参加・同行 |
|---------------|----------------------|--------------------------------|-----------------|---|---------------------------------|
| 10:00 ~ 11:30 | ■熊本市内保育園 意見交換 | さくらんぼ保育園 | 熊本市東区広木町 29-35 | 建川美徳 園長 | 建川、佐久間、新田、松村、柿本 |
| 12:00 ~ 13:00 | ■ユニセフ(熊本) 意見交換 | カフェ:ア・マ・ファソン | 熊本市中央区神水本町 17-1 | 熊本ユニセフ協会 世良喜久子事務局長 他3名 | 建川、ユニセフ、佐久間、新田、松村、柿本 |
| 13:30 ~ 14:30 | ■ワールドビジョン 意見交換 | 益城町総合体育館(避難所) プレイルーム・プレイパーク | 上益城郡益城町 | ワールド・ビジョン・ジャパン 支援事業部 山野真季葉 | ユニセフ、佐久間、新田、松村、柿本 |
| 14:45 | ■益城町内車中泊避難 状況視察 | グランメッセ熊本(車中泊避難) | 上益城郡益城町 | — | ユニセフ、佐久間、柿本 |
| 15:45 | ■益城町内小学校(避難所併設) 意見交換 | 益城町広安西小学校 (+避難所) | 上益城郡益城町 | 田中壮介 教頭 | ユニセフ、佐久間、柿本 |
| 19:00 ~ 20:00 | ■熊本地震・支援団体火の国会議 参加 | 熊本県庁 本館13階会議室 | 県庁本館 中央区水前寺 | 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク他 | 内閣府、県福祉、青年商工会議所、各種連携支援団体、佐久間、柿本 |
| 5月25日 | | | | | |
| 10:00 ~ 10:30 | ■熊本市城南まちづくり交流室長 意見交換 | 南区火の君総合文化センター(避難所) | 熊本市南区城南町舞原 | 熊本市区民部城南総合出張所 高濱辰也 室長 | 高濱、佐久間 |
| 11:00 ~ 12:00 | ■熊本県子ども劇場連絡会 | 子ども劇場意見交換 | 熊本市中央区本山 1丁目 | 中島久美子 代表理事 (あそび環境Museumアフタフ・パーバン 佐藤律子理事) | 中島、(佐藤)、佐久間 |
| 13:30 ~ 14:30 | ■ピースボート災害ボランティア 意見交換 | グランメッセ熊本(避難所) | 上益城郡益城町 | 加藤桂子 (元仙台ジュニアリーダー) | 加藤、佐久間 |
| 15:00 ~ 16:00 | ■セーブ・ザ・チルドレン 意見交換 | 益城町中央小学校(+避難所) | 上益城郡益城町 | 津田知子(国内事業部副部長) | 津田、佐久間 |